



萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

令和6年

8月

第613号

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

パラリンピック種目 ボッチャ競技に挑戦！



ボッチャ大会の
動画QRコード

競技中判定の仕方を学ぶ参加者（会場：須佐公民館3階）

今月の話題

- 須佐地区集ってボッチャ大会！・・・・・・・・・・2P
- 公民館学級：詐欺に騙されないように・・・・・・・・3P
- 陸稲（おかぼ）日記・・・・・・・・・・・・・5P
- 特集：対談（前編）
切羽詰まる地域課題を解決するには・・・・・6～9P
- ぶらぶらタムラ：「唐津焼」について・・・・・・12P
- 40年前の須佐を振り返る
須佐町町民歌を知っていますか？・・・・・・13P



ジャックボール目ざし「それっ！」

暑さも吹っ飛ぶスポーツ大会

須佐の住民、約80名が集う！

第2回須佐地区ポッチャ大会

7月21日（日）、須佐文化センターと須佐公民館を会場に、ポッチャ大会が開催されました。

昨年度は、初めてということもあり8チーム（3人1組）が参加しましたが、今年は、育英小学校が親子でポッチャ競技の講習をしたこともあり、今年は昨年の約2倍の17チームが参加。また会場内には、選手以外にも応援する保護者など、総勢80名が集まり、会場は熱気にあふれていました。

会場も、文化センターと須佐公民館3階大ホールの会場4コートで行われました。

試合は、各チーム2試合ずつ行い、得点の多いチーム5チームが決勝トーナメントに進出しました。

3名で1チームということ、子ども同士や親子、友達、各団体等編成したチームが、優勝目指し試合に臨みました。

そもそも、「ポッチャ」とは、パリンピックの競技種目にもなっており、障がい者はもちろん、健常者など、子どもから大人まで誰でも気

軽にできるスポーツです。

競技は赤、青のボールを一人2個ずつ持ち、的となる白いジャックボールを最初の人が投げて、そのジャックボールに赤と青ボールをどれだけ近づけるかで勝敗を競います。



熟年者も若者に交じってプレー



試合を始めてみると、小学校低学年の子どもの達の投げるボールが、白いジャックボールの近くへ上手に投げていて、偶然ではなく、ちゃんと狙ったとおりに止まり「すごい！」と会場から声が上がっていました。



予選で勝って喜ぶ、育英小学校の先生

子どもの頑張りにも大人も負けてはいません。育英小学校の教員チームも2チーム参加し、チームワークも気合いも十分余裕のあるプレーをされていました。

主催者であるスポーツ振興会Aは、予選1位通過と思っていたのが番狂わせで育英小学校Bに敗退しました。しかし、スポーツ振興会Cは、優勝決定戦まで勝ち上がりました。

大会の終りに、「今日、楽しかった人！」と聞くと「はい！」とほとんどの参加者が手を挙げていました。ポッチャは、今後しばらくはブルームとなりそうですね。

また、毎月第3水曜日の午後7時から、須佐公民館3階でポッチャ教室を行っていますので、こちらも是非、ご参加ください。



3 位
ゆかいな仲間たち



準優勝
育英小学校B



優 勝
スポーツ振興会C

【大会結果】



公民館学級

竹筒で

フラワーアレンジメント



弥富公民館

今年度も 弥富9区の齊藤洋子さんに講師をしていただき、「物作り教室」を開催しました。

第1回目は、6月21日(金)に行い、竹を使ってフラワーアレンジメントをしました。

はじめに、竹の筒に入れるオアシス(花を飾る際に使う吸水性のスポンジ)を切っていました。

竹の筒からはみ出ないように、そして小さくなり過ぎないように、ちょうど良い大きさに切っていくのは、簡単なようでなかなか難しく、大きさをしながら、皆さん慎重に切られていました。

できあがったオアシスにしっかりと水を浸した後、齊藤さんが用意してくださった花(菊、カスミ草、デンファレ蘭、ニゲラ、オトギリソウ、コリウスなど)の中から好きな花を選び、早速フラワーアレンジメントを楽しみました。

皆さんバランスを見ながら、「これはどこに生けようか」と隣同士で相談しながら、生けられる方もお

れました。生け終わった後は、齊藤さんに最終チェックをしていただき、更にステキな作品ができあがりました。同じ花を選ばれても、アレンジの仕方で違った作品ができあがるので、皆さんそれぞれできあがった作品を見て、「こういう生け方もええねえ」など、お互いに品評し合う姿も見られました。



齊藤さんに見て頂きながらアレンジしていく参加者

最後に記念撮影を行い、皆さん大変満足された様子で、「玄関に飾ったらステキやね」と、できあがった作品を大事に持って帰られていました。きつとお気に入りの場所へ飾られたことでしょう。

次回の物作り教室も、是非ご期待下さい。

詐欺に騙されないように!

弥富さつき学級

7月8日(月)、弥富駐在所の繁田京祐(しげたきようすけ)所長を弥富交流促進センターにお招きし、「うそ電話詐欺防止について」24名の参加者が話を聞きました。

はじめに、うそ電話詐欺被害の発生状況について話をされました。

山口県内の詐欺被害件数(令和6年5月末)は39件、被害総額は1億5,506万円で、萩市内では1件、被害総額は約186万円だそうです。

山口県内の手口別被害状況を見ると、架空料金請求詐欺被害(未払いの料金がある等、架空の事実を口実とし、金銭等をだまし取る手口)が全体の4割を占め、年代別に見ると高齢者被害が39件中18件、男女別で

見ると男性より女性の方が多いそうです。

最近ではSNS型投資詐欺(SNSを通じて、暗号資産や株に投資すれば利益が得られるものと誤信させ、金銭をだまし取るもの)やSNS型ロマンス詐欺(SNSを通じて、恋愛感情や親近感を抱かせながら投資に誘導し、投資金名目で金銭をだまし取るもの)など、新たな詐欺被害が県内でも急増しているのが気をつけてくださいと話され、皆さんも熱心に聞かれていました。

また、「架空料金請求詐欺・名義貸し」の寸劇や、「キャッシュカード差し替え詐欺」「架空請求詐欺」の啓発用動画視聴もあり、とても分かりやすく教えていただきました。



参加者に説明する繁田さん



真剣に話を聞く参加者

生き生き教室

願いよ叶え！

つどい会



7月3日（水）は、七夕ランチを作りました。

「七夕ランチ」

- ★洋風炊き込みご飯
- ★ひじきともやしの和風サラダ
- ★夏野菜の天ぷら
- ★七夕ソーメン汁
- ★寒天寄せ



色とりどりでおいしそう！

七夕ソーメン汁は、オクラで星を、ソーメンで天の川をイメージした汁となっており「オクラの星がかわいいね」「ナイスアイディアだね」と好評でした。ひじきともやしの和風サラダも酢が入っていることでさっぱりとした味となり、暑い季節で少し食欲が進まないときでも食べやすい一品でした。

今回は豪華でボリュームがたっぷりあるランチだったので、皆さんどれから食べようかと悩まれています。今回の献立はパッと作れて、さっぱり食べれるものが多かったことで、ぜひまた家でも作ってもらいた

いなと思います。

昼食後は、七夕飾りを作りました。今年の短冊には折り紙で作った星をくっつけたかったので、まず皆さんと一緒に星を折っていただきました。工



願い事、叶うといいなあ...

程は5工程ほどの星ですが、途中広げて角を出したり、バランスを整えたりが少し手こずっていましたが、皆さん無事に星を短冊に貼り付けることが出来ました。

今年の願いごとは、皆さん猿や、いのししに畑を荒らされたのか「イノシシ来るな」「害獣退散」などなど、畑を守りたい願いが多く見られました。また家族の健康を願う短冊も見られました。

また来年のつどい会で皆さんの願いが叶ったか聞いてみたいと思います。



クラブ活動紹介④

元気な高齢者を支援する「生き生き教室」では、いろんな活動を展開しています。このコーナーは、それぞれのクラブ活動に関わっている方の思いを活動内容とともに紹介しています。



「エコクラブ」

★活動日 毎月第2・4月曜日

9時30分～15時

場所 2階団体室

エコクラブとは、紙紐を使ってかごや小物入れ、壁飾りなど様々な作品を作っています。皆さんも、生涯学習発表会やふるさと祭りで作品を目にしたことがあると思います。

エコクラブは、須佐公民館のおもしろ学級として平成23年から活動をしています。令和3年から生き生き教室に加入し、現在まで元気に活動を続けています。

教室を立ち上げた当時から、中村恵さん（押谷）が指導しています。

～指導者から～

平成25年の豪雨水害で、その後の活動ができるだろうかと不安もありましたが、今も皆さんと楽しく活動ができうれしく思っています。皆さんが頑張っている私も頑張らなきゃと励みになります。

～参加者から～

●きっかけは、家族からクラブキットが送られてきたことですが、一人ではできず、公民館で活動していることを知って参加し、約13年間：たくさんの作品を作っていました。

●仕事を辞めてからの楽しみとして始めました。作品を作る楽しみの他、ここで皆とおしゃべりして笑うことが楽しいです。

●編み方次第で、同じバッグでも違う顔を見せてくれるので、新しい編み方を見るとワクワクします。このまま長く皆と仲良く活動できたらいいと思います。





「まいどー」
地域おこし協力隊の山本一貴です。
「スマホなんでも相談所」について触れてみたいと思います。



相談所に集う皆さん

スマホなんでも相談所では公民館の一室で、僕が相談員となり、マンツーマンでスマホに對する色んなお悩みを一緒に解決しています。相談料は無料です。予約不要、一人原則30分という決まりにしていますが、ゆっくりやっ行ってきたいなと僕は思っています。

この相談所をやる目的は大きく二つあります。一つ目は情報格差の解消です。デジタルな情報にアクセスできない人が少しでも減ればなと思っています。二つ目は僕自身を知ってもらおうという目的です。どちらかというと、地域おこし協力隊山本的是は後者に重きをおいています。

今まで頂いた相談内容は、多岐にわたります。LINEへ送られた写真の保存方法や電話帳への電話番号の登録などの比較的初歩的なもの。新幹線チケットの取り方やポイントの変換の仕方など中級的なもの。電波が入らないというマジで困るもの。インスタグラム（写真や動画の投稿）の効果的活用といった結構上級なものも頂きました。この質問はうまく答えることが出来なかったので少し反省しています。パソコンの基本操作やガラケーの使い方、万歩計が動かないなど、スマホ以外も持つて来て頂いたら大体何とかなっています。

相談をして頂いている時間の中で、スマホに全然関係のない、家庭菜園のお話や海外旅行のお話、等々をさせて頂くことがあります。その時間がめっちゃやええなと思っています。ほんまに一回来てみて下さい。8月は5日と19日に開所します！

以上、山本でした。

「おおきに！」



地域トピックス

天までとどけ！



緑のカーテン（須佐公民館）



あと何日で屋上にとどくかな…？

陸稲（おかぼ）

栽培日記③

陸稲とは、水稲とは違い水がいらない稲作です。

5月29日（水）に、放課後子ども教室の子ども達が、育英小学校グラウンド横の元気農園に陸稲の種を植え付け、約2カ月が経ちと努力しました。

梅雨が明けた7月23日（火）、朝から元気農園の草とりに行ってきたが、思ったとおり、草がたくさん生えていました！

また、陸稲の根元の分けつも始まり茎も太くなりはじめ、このまあい



上の写真のように、たくさん生えていた陸稲の畝が少きれいになりました。（まだまだですが…）

右の写真が、根元の分けつです。水がなくても出来る稲作の実験です。

毎年、省エネの取り組みを進める「緑のカーテンコンテスト」（民生部門実施）へ応募のため、須佐公民館では、事務所の窓側にリュウキュウアサガオを植えて、緑のカーテンを作っています。

今年は網を追加して、屋上まで伸ばし、アサガオのツルを全体に誘引しながら何とか上へ伸びるように頑張っています。

この調子でいくと9月の応募までには、屋上までとどくのでは…と、毎日見守っています。花もたくさん咲き始めました。皆さんも、公民館へ寄られた際には、ぜひ観覧を！

特集

対談

地域課題もつ後がない(前編)

一人一人が地域の魅力を発信することがヒント

(司会)

皆さんこんにちは、公民館では定期的に地域問題について、広く住民の皆さんからご意見を頂き、人づくりや地域づくりの中核でもある公民館活動に活かしています。

なお、本日の対談の司会進行は、須佐公民館の吉田満が務めますのでよろしく願います。

(はじめに/須佐地域の現状から)

少子・高齢という地域課題が、いよいよ須佐地域も最終段階を迎えています。平成25年7月28日の山口県北部豪雨災害を機に人口の流失は激しさを増し、毎年約80名余りの人口が減っており、このままのスピードで推移するとあと30年を待たずして、数字の上では須佐地域の人口はゼロになります。まさに須佐地域自体の消滅を意味します。

そこで、このような緊急的な地域課題に遭遇するなかで、私たちはこのまま須佐地域で暮らす以上、指をくわえて見ている訳にはいきません。

今回は、この非常事態をどのように解決して行く事が必要なのか、みんな考えてみると、きつと何か地域を変えていける打開策「ヒント」はあると考え、今回は今後の須佐地域を

支えるであろう若い世代にも参加して頂き、対談を行いました。

地域課題解決を政治家や行政に託すことも必要なことありますが、まずは私達自身が、「自分のため」「地域のため」に考え、汗を流すことが必要ではないかと思っています。



公民館「対談」参加者の皆さん



うしたら良いのかをみんなで考えたと思いますので忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

まず最初に、魅力の無い地域に人は住み着きません。何かしら魅力のある地域は、若者が住み続けています。先般の民間の調査機関が発表した74自治体が消滅可能性自治体となりました。特に今回目立ったのは、前回の調査より大幅に消滅可能性自治体から脱却したのが隣の島根県でした。島根県も過疎地域は沢山ありますが、若者を引き付ける魅力(例えば神楽文化など)も多数あり、若者の流失を食い止めています。

若者流失を防ぐ打開策は須佐地域にもあるはず。今回は、特に若い人の意見も聞き入れた対談したいと思います。

須佐の魅力とは何ですか

最初に自己紹介を兼ねて、あなたが残したい須佐地域の魅力を一言お願いしたいと思います。

(齊藤)

私は、弥富9区の齊藤洋子(ひろこ)といいます。



弥富支所と弥富郵便局の近くに住んでいます。

弥富は田舎だけど恵まれた環境で暮らしています。

す。買い物は益田や萩に行かないと物は揃いません。5年前から「龍の

里弥富」でそば屋のお手伝いをしています。土日営業ですが1日平均30人のお客さんが来られます。

今はおいしい弥富そばを広めたいと頑張っています。

(石田)

本町上の石田憲雄です。

地域の魅力は地域の祭りだと思いますが、最近過疎化で、祇園祭の祇園車の巡行もなくなり、弁天祭りも縮小され残念です。



地域が好きな子どもが増えていくことは嬉しいことです。

小中学生が地域学習に積極的に取り組んでいます。その反面地域がそれに乗っかってきていないのが残念です。

地域が乗っかれればもっと地域が元気になるのではと思います。また大自然を生かしたジオパークと食がつながってくれば良いと思います。

(野村)

萩高校3年の野村廉裡凌(れんり)です。本町下に住んでいます。

須佐地域の魅力は、何と言っても須佐の花火大会です。その理由は、他の地域に比べて結構大きく迫力があるからです。毎年



高校の皆に来てもらえるように声をかけています。なかでも最後のフィナーレが一番好きで、今年も多く

の人達に来てもらいたいと考えています。

(藤山)

益田翔陽高校3年の藤山溪花(けいか)です。山根丁西に住んでいます。



須佐地域の魅力は、自然が豊かで、その中に歴史や文化があり、私はその全てが好きです。それは、中学生の頃、史跡や名勝を見たりした体験があったからだと思います。できれば将来も須佐に帰ってきたいなと思います。

(山本)

地域おこし協力隊の山本一貴(かずき)といいます。今本町上に住んでいます。そして、仕事はこの公民館を中心に働いています。大阪出身の32歳です。



須佐地域の魅力は、私はもともと海が好きで、周南市に住んでいた頃からホルンフェルスや荒々しい日本海の風景、入り込んだ穏やかな入江などが好きで、その魅力を求めて私は須佐に来ました。

(林)

山根丁東に住んでいます林和哉38歳です。私は、高校までは須佐に住んでいましたが進学を機に関東に出

て行きました。10年前に須佐に帰り、今は家業を手伝っています。

また、家業の傍ら中学生の学習を塾としてサポートもしています。



昨年度と今年と地域の子供達に恵まれ、今積極的に地域活動に専念しています。

私は、須佐は丁度良い田舎具合で、声をかけると答えてくれ地域活動に参加してくれる意識が高い子ども達がいることが地域の魅力ではないかと思っています。

(中山)

弥富9区の中山由里子です。私は、生まれも育ちも弥富です。短大の時都会に出ましたが、結婚してからも弥富で住んでいます。



弥富地区は高齢者が多く、弥富公民館でみんな元気に暮らしているような仕事をしています。地域の魅力は、私的には畳ヶ淵が好きで、先日も福岡県から来た人も感動されていました。これからも、もっともっと畳ヶ淵の魅力を広めたいと思います。

(中原)

山根丁東の中原さくらといいます。今須佐郵便局で働いています。須佐の魅力は、自然が豊かなこと



で、結構地域行事も多いことです。年代問わず皆さんと関わることが出来ることが須佐地域の魅力の一つだと思います。

(石橋)

須佐中学校3年の石橋瑠叶(るか)です。下三原下に住んでいます。



須佐地域の魅力は、色々あるのですが一番はホルンフェルスだと思います。

その理由は、何度も行ったことがあり、そのスケールと何千万年という地層の出来上りに神秘とロマンを感じるからです。

(伊藤)

須佐中学校3年の伊藤夏空(そら)です。河原丁に住んでいます。



僕は須佐の魅力は、陶芸の須佐焼です。理由は僕のじいちゃん、おばあちゃんが須佐焼を作

っているからです。

僕も須佐焼を作ってみました。割れてしまいました。昔から須佐唐津地区に伝わる須佐焼(元は須佐唐津焼)は、須佐地域の貴重な伝統工芸のひとつで誇りだと思うので、大切にしていきたいと思っています。

(司会)

皆さんに一通り須佐地域の魅力をお尋ねしましたが、次に皆さんは、その魅力を他の人に伝えたりしていただけますか、そしてそれはどんな方法で情報を伝えていきますか。

また、須佐地域で感じられた新たな魅力や個人的な思いの変化があれば教えてください。

魅力の伝達方法は・・・？

(野村)

僕は地域の魅力発信として、Instagramを利用し、ポスターなどを発信しています。しかし須佐までの交通の便が悪く、なかなか食いつかないのが現状です。

(伊藤)

プライベートでSNSの発信はしています。まだそれほど頻繁には行っていない。

(山本)

私が良いなと思ったことは、地域おこし協力隊に入る前から、自然が好きで自然豊かな所によく行っていました。その時長磯海水浴場にいった時のことです。

綺麗な所だと思っていたら、その時イカが泳いでいたのです。奥さんと一緒に、「ここは良いところやなあ」と感じました。



ホルンフェルスや須佐湾も気に入りましたが、自然がいっぱいのこの地で暮らせたら良いな、そしてタイミング的に地域おこし協力隊の募集もしていたので住むこととなりました。特に今不便は感じないし、何となくしに須佐は良いところだなと思うし、まだ言葉に出して言えないので、もつともつとこれから本当の地域の魅力を探し求めたいと思っています。

(伊藤)

山本さんの話を聞いて、私たちは、須佐に住んでるから気づかない点があったのかなーと感じました。

(石橋)

都会なら色々な所に行けるので良いのかなーと思っていましたが、須佐で気づかない自然の豊かさは、都会にはない自然のクオリティが高いことに改めて気づきました。



中学生からも活発な意見が・・・

(司会) 昔から考えると子ども達も色々変化してきたと感じます。

特に11年前の山口県北部豪雨災害以降、住民が集う機会として始まった元氣もり祭りでは、子ども達が企画段階からこの祭りに関わり、

地域のためにまつりの司会進行等を行ってきました。

何らかの形で子ども達が地域と関わるようになり、一時コロナで活動は停滞しましたが、その当時の子ども達が、今回お盆のイベントを開催するのの事を聞いています。

その辺を、高校生の野村君詳しく説明できますか。

高校生が創る初めての祭り

(野村)

隔年で行われていた祭り(元氣もり祭り)が、今年は開催されないと聞き、自分たち高校生で何か祭りが出来ないものかと同級生や大人の方に相談したところ、今回8月15日の盆踊り大会の前に、自分達がつくった祭りを披露したいと考えています。

具体的には、ステージイベントとして「小学生から高校生までの田植えばやし」と主なイベントは「e(良い)スポーツ」を文化センターで、公民館前の広場では「飲食物の出店」を行う予定です。お盆に帰られた人達に楽しんでもらえればと思います。

(司会)

林さん、このイベントについて、何か補足がありますか。

(林)

この祭りは、子どもから大人までが楽しめるお祭りを、盆の行事として高校生が初めて企画しました。高

校生も受験を目の前に、一生懸命地域を盛り上げたいと頑張っています。

地域と子ども達

子ども達がより一体感が持てる祭りにしたいと思っています。

で、是非とも皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いします。



「意見がいっぱい」対談の様子

(司会)

今まで子ども達が、主体的に動くことはなかった気がします。ちょうどコロナ禍で何も出来なかった時期の中学生たちですよ。

是非とも地域の魅力が発信できる祭りの成功を祈っています。このように、色々な活動を通して地域に対する気持ち、子ども達から変化してきています。後は大人たちの協力に期待したいですね。

(野村)

もともと須佐が好きで、出れば将来この近くで住みたいなと思っています。中学校の頃の地域の魅力再発見プロジェクト以降、須佐の色々な行事やイベント等に声を掛けるようになったのは、自分の変化と成長かなと思います。それを支えてくれたのは理解ある大人の皆さんの協力

だと感謝しています。

(石田)

多分野村君あたりは、小さい時から地域の文化(祇園まつりなど)に携わっているの、同じ仲間内でも意識は違うと思います。要は地域で色々な経験を積んでいる人と経験のない人とは、地域に対する思いは違うと思います。

例えば、弁天祭りの巫女舞や田植えはやしなどがあります。半分はやらされている部分も多いと思います。が、やることで何らかの魅力は感じている気がしますし、自然と須佐が好きになってくるのではないかと思います。ちなみに、野村君や山本君の好きな長磯海水浴場は、水はきれいだけど、人はいないワースト2位らしいです。(笑い)

(山本)

長磯海水浴場の海岸はすごくきれいな所で、個人的にはあまり人は来てほしくないし、キャパ的にも広くないので、人を呼ぶのはどうかと思います。須佐地域の人が楽しめる



子ども達の意見をリードする石田さん

場所であつたら良いのかもしれないね・・・。

都会から須佐を見るのも大切

(司会)



私も高校卒業し、一度は都会に出てみたいと親の反対を押し切り、大阪に出て行き4年間新聞配達で生活してました。卒業後は約束どおり弥富に帰って来ました。

その時感じたのは、今ほど水を売る時代ではなかったので、大阪の水はとても臭く(カルキで)って飲めるものではないませんでした。1週間したら飲めるようになりました。逆に都会から田舎に来た人は、最初は自然が良いなと言いがらも、1週間したら飽きたと言われています。私は、若い人たちに必ずしも、高校卒業してから田舎に留まることを推奨するのではなく、一度都会から見た須佐地域はどうか体験してほしいと思います。そして、須佐が楽しいと思えば帰ってきてほしいと思います。

(齊藤)

私の息子は、田舎に帰るとは言いませんが、一番下の娘は今年36歳になるのですが、今回の対談に対して、娘なりの須佐地域に対する要望を手紙に送ってくれました。

まずは、仕事があること(見合っ

た給料)、医療機関・教育の充実、住民が集える公園の整備、子育て世代への助成事業、移住者への補助金、道永の滝を利用したミネラルウォーターの開発、空き家の活用/空き家バンク・リフォームへの補助金、低価格泊で泊れるキャンプ場の整備など安心して暮らせる地域を創ってくださる事を願っています(途中省略)。を書き上げ送ってくれました。娘にとっては、興味を持っているくらいですので弥富は魅力のあるところなのでしょう。



子どもの手紙を披露する齋藤さん

(司会) 一番下の娘さんは、弥富小学校の頃女子相撲大会の全国大会に出場された方ですね。その時のお母さんや先生方と一生懸命練習された思いが、地域の誇り(魅力)として残っているのでしょうか。

(中山)

都会に出てた友達は、弥富の良さを感じたのか、帰って来たいと話していますが、まだまだ先の話。歳を取ったら帰って来たいとのこと。都会の便利さを考えるとなかなか帰って来られないとも言っています。

(司会)

先般ある会議で、人口減少が大きな課題であると説明すると、若い者が働く場所がない、「自分の子どもに自分の家を継げとは言えない」との回答がありました。まさに田舎を出て行けと言わんばかりである親の意識に驚きを感じました。今秋市でも求人に対して応募が足りていない人手不足が続いています。通勤しても須佐地域に住みたいという、魅力が地域にない現状を感じます。何か若者が魅力を感じる手立てはないものかと悩んでいます。



田舎には田舎の良さがある

けっして不便じゃない!

(山本)

私も都会に住んでいたのですが、都会は便利便利というけど、須佐だつて車があれんどこへでも行け便利です。都会は車に乗ってもどこにも行けないこともあります。それに須佐では、スーパーにだって歩いて行けます。

僕は、須佐の人から「田舎は大変でしょう、何もありません」とよく言われますが、かといって大阪に行けば何かがあるかと言えば、遊ぶところは確かに多いけど、行く人によつては何もないと感じるかもしれません。僕は、須佐での生活は大して不便とは思っていません。

(司会)

今須佐で、一番交通機関を利用されているのは、都会から帰られた方も経験された方だと思います。例えば、ある方は青葉台から益田日赤に通院される際には、朝8時過ぎの生活バスで須佐駅まで須佐駅から石見交通を利用され日赤まで、または買物は、早く終われば、田万川道の駅まで帰れば、昼の生活バスで13時頃に又は夕方6時には自宅に帰れます。須佐地域の方は、もっと交通機関の上手な使い方を学習すれば、都内に負けない便利さもあるのではないのでしょうか。不便は住民の意識からくるものではないでしょうか。



地域を巡回する生活バス

(中原)

高校に通っていたころも駅までは歩いて通っていましたし、今も地元のスーパまでは歩いて行っていますので全く不便は感じていません。社会人になってから休みになると遊びに行きたいなと思いますが基本的に今一番不便さは感じていません。

(後半につづく)

子育て支援日記 【テーマ／私の子育て】

感謝、感謝の子育て

育英小学校校長

安江 佳世子



「子育ては、あつという間に終わるよ」と子どもが小さい時によく言われました。本当にその通りで、何をしたのか分からないうちに子ども達は成人し、巣立っていきました。とはいえ、末っ子は学生ですので、まだまだ子育て真つ最中です。

ただ言えることは、自分一人が子どもを育てたのではなく、身近な祖父母や親せき、保育園や学校、児童クラブの先生方等、様々な方に我が子は育ててもらったと思っています。特に、保育園や児童クラブの先生方には、本当にお世話になりました。

学校という職場は朝が早く、帰日も遅いため、我が子は、保育園にいる時間がおそらく一番長かったのではないかと思います。

「教員の代わりはいないけど、お母さんの代わりはいないから、自分の子どもの子育てを優先しなさい」と先輩の先生から温かい励ましをいただいていたこともあり、保育園のお迎えには、よほどのことがない限り

は自分で行くことにしていました。迎えに行くとはほとんど最後。上の2人は年子だったため、まだよかったのですが、末っ子は1人で待っていることも多かったのです。

「ごめんね、寂しかったね」と言うのと、「全然寂しくなかった。先生と遊んでいたから」と答える息子。時にお迎えが間に合わず、遅れていくこともありましたが、先生方はいつも笑顔で「大丈夫ですよ、お利口に待っていましたよ」と言ってくださっていました。

これは、小学生になり児童クラブに入ってから同じです。身体を動かすことが好きな息子に付き合ってお迎えに行くまで汗だくなつてバドミントンの相手をしてくださった先



生方のおかげで息子は寂しい思いをせずに済みました。

また、仕事柄、自分の学校の行事と子どもの行事が重なることは多く、小学校の卒業式には、一度も出席することができませんでした。運動会も、同じ日になってしまうこともありましたが、幸い、主人が別の仕事をしているため、両親共いないということがなかったことはとても助救いであり、祖父母や親せきの応援も子どもたちは嬉しかったようです。

普段さみしい思いをさせている分、家にいるときは、子どもたちを中心に過ごしていました。

子どもの話を聞きながら、ご飯を作ったり、次の日の保育園の準備を一緒にしたり、寝るときには絵本の読み聞かせをしながらか一緒に寝たり；持ち帰りの仕事はありましたが、それは朝早く起きてすればいいやと思っていました（起きられず、焦ることもありましたが）。

でも逆に、必要以上に手を出すこともしませんでした。小学校に上がってからは、特に「自分のことは自分で」させるようにしていました。日課をそろえることも自分で、宿題の答えがあっているかどうかなんて確かめた記憶もありません。音

読を聞いてカードに書いたり、しりとりにした文字をノートに書いたりするなどの宿題が出たときには、一緒にやりました。また、わからない問題があったとき時には、子どもの方から教えてほしいと言ってくれば教える程度でした。それでも、宿題を忘れることはほとんどなかったように、「自分でやらなきゃ、うちの親は助けてくれないぞ」と思っていたのかもしれない。

もちろん、親でないとできないことは全力でやりました。図工の工作中を探したり、百貨に買い出しに行ったり、子どもが少しでも工夫して作れるようにと準備をしました。親がすべきことをきちんとすることで、子どもも自分がすべきことは自分でするようになるのではないかなと思います。

子育てを始めて4半世紀が過ぎ、上の2人は今、自分と同じ職業についています。それは、私にとって、とてもうれしいことです。なぜなら、私が教員であることで、子どもたちにさみしい思いやつらい思いをさせていなかったことが分かるからです。それも、子育てを助けてくださった全ての方のおかげだと改めてありがたく思います。





旧須佐町中央公民館

全国公民館研修高知県大会 四国山地山越えは大変

2月末に須佐図書館がオープンし8ヶ月が経過した10月には、全国公民館研修中国四国大会が、高知県で開催されることとなり、そこでの事例発表として、須佐公民館での24時間図書館の発案から建設までの経緯を発表することとなりました。

須佐から高知県まで、片道600kmの距離を格安で行くとすれば、どう行けば良いのか、公民館職員の中で検討することとなりました。研修大会

事例発表では、若干の謝金ができるもののほぼ自腹参加。当時の教育長からは、1泊2日分の旅費を出してもらうことになりましたが、最終的には2泊3日の行程となりました。それだけ高知県は遠かった記憶が残っています。

高知まで一番安く行く行程は、当時の須佐公民館S館長曰く、四国山ではフェリーで渡り、そして四国山

地、石鎚山の麓を山越えするしかないとのこと。今ほど道路が整備されていない状況の中、館長の提案を素直に聞いて、まず広島県竹原から今

治までフェリーで渡り、今治から国道194号線で四国山地の山越えを試みました。山口県で言えば、100番台の国道を行けばかなり道路は整備されている話は大誤算。国道194号線は、大刈峠以上のもので、道路はまさに悪路、カーブは、一旦ギアをバックに入れ、ハンドルを切り返さないと登れない箇所が何ヶ所も、国道ならぬ酷道通過となりました。

結局会場の高知県民文化ホールに到着したのは、夕方となりました。須佐から高知市内まで12時間の一人旅でした。

高知県民文化ホールは、1500人が入る高知県で一番大きな施設で、私の事例発表は、午前中開催され、山口県教育会館での発表よりかなり緊張したことを覚えています。一応に24時間図書館の始まりから今日に至る利

用状況などを行い、その後質疑応答となりました。大半は公民館活動と図書館とのつながりの質問でしたが、中には変わった質問もあり、「特産づくりに熱心な町長から、地域の女性たちが、せかされ困っている(今ならパワハラ?)がどうしたら良いものか」との質問。

無下に跳ね返すこともできず、「一歩踏み出してはどう

うか」との回答。

この後、奮起した女性たち

は、山口県に視察に入り、山芋を地元

に持ち帰り、今では高知の特産品の一つとして栽培がなされているという結果の連絡が入り、毎年「山芋祭り」が開催されているとのこと。



高知市の中心にある高知県民文化ホール

よさこい踊りの舞台



そして、この研修会の後半のアクシオンは、私にとっては大変な転機となる団体と遭遇することに…。

それは、スガジャズダンススタジオ

オの皆さんによるテンポの速い迫力ある「よさこい」演舞でした。

よさこいは、私にとっては初めて見るステージでした。この切っ掛けが、その後山口きらら博が終了してから、山口県で爆発的なブームになるとは、この時点で知る由はありませんでした。

話によると、高知のよさこい節(民謡)の歌詞は、五色山の竹林寺の純真(じゅうしん)というお坊さんとお馬さんとの恋物語を唄ったもので、人目をさける二人が高知市内のはりまや橋で逢っていた。逢うのは夜しか会えない、夜さ来い、夜さ来いが「よさこい」になったと言われています。

その後、終戦後高知の戦後復興を祈り、隣の徳島の阿波踊りを真似て、手にはスズメ脅しの鳴子を持ち、町内を練り歩いたのが始まりだと言われています。

スガジャズダンススタジオとのつながりは、平成14年から続き、当時の阿武郡の仲間が集い、約150名の「阿武郡よさこい隊」が結成され、翌年1月には山口県よさこい連絡協議会が立ち上がり、老いも若きも鳴子を持ち、各種祭りイベントで踊りまくるという一大ブームとなりました。



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。

これまででは、須佐と田万川の境界に位置する「犬鳴山」の全貌をご紹介致しましたが、今回はその犬鳴山の麓に広がる「焼物の里」唐津集落を、そしてその奥地に現存する須佐川の源流の一つとなる「唐津の滝」、そして珍しい「連理の榊」等をご紹介させていただきます。

唐津焼のルーツを

調べる調査がなされた

唐津といえば焼物となりますが、この須佐唐津焼については、先きに本紙において伝統工芸「須佐唐津焼」をご紹介しました。

ご承知のとおり、この唐津集落は、須佐松原区から須佐川沿いに市道中津板根線を約4 km位遡ると、あの名勝の橋といわれる「須佐大橋」（全長313 m逆ローゼ型の高さ98 m）が見え、その橋脚の下に位置する集

落（現世帯数3戸、人口8人）です。

古来から存在する、この唐津の地は、三方を急峻な山がそびえ、2つの谷に沿って川が流れています。そして川沿いに民家が点在しています。



須佐大橋から見た唐津集落

この地域には、針葉樹や落葉樹が多く生殖し、そして須佐川の源をなす豊かな清流が流れています。

こうした環境から焼物づくりの3要素である燃料の木、水、土が整っていたので、かつての陶工達がこの地が焼物づくりの適地としたのではないかと考えられます。

古い文献「防長風土注進案」によりますと、「唐津と申は、往古唐人参いて、焼物の細工を始候所、故唐津と申博候事」と記録されています。また、近年旧須佐町教育委員会が主管して、山口大学の考古学の専門家等とチームを組んで、唐津窯跡の

埋蔵文化財調査が実施されました。

その調査結果報告書によりますと、「須佐唐津窯跡は、近世から近代の民窯跡で、現地は日本海岸の須佐湾から南東へ3.9 kmばかり入った犬鳴山北麓の谷頭に近い峡谷にあり、昭和38年（1963年）頃から窯跡調査がはじめられ、昭和41年から3ヶ年にわたり、考古学、地質学、地磁気年代学、原料土と釉薬の化学分析や古文献及び伝世資料等の諸分野から総合調査が行われた。

その結果、この窯では中国や朝鮮からの渡来品とまどうほどの良質の青磁（須佐青磁）を産み出していました。

「三基の階段式連房登窯と灰原を発掘し、形態と構造や重複状態と遺物と灰原との層位関係をとらえ第I層から第V層までの層位が結びつき、陶磁器の編年が作られた。

中国青磁にまどう優品は第3号窯跡の第III層で焼かれたことがわかり、須佐唐津焼が萩焼とは別系統に属する民窯として存続した。」との事実が明らかになった。等と記録されていることからこの報告書は焼物の里のルーツを知ることが出来る、としています。

こうした調査を契機に伝統工芸

の唐津焼の継承が力説され、その技は、今日集落を守る若い人達が、中畑区地域の仲間と共に、中畑区公民館を拠点に活動が続けられておられます。その取り組みの中で成果



須佐唐津古窯跡群

品は、地域産業興しの一つにもつながる商品として、萩明倫学舎をはじめ、国道315号線沿いのログハウスに店舗（今は閉店）を設け、更に、田万川の道の駅（ゆとりパーク田万川）、須佐ふれあいステーション（いかマルシェ）等に出店して、道行く人々の「ふるさと工芸品、手土産品」の一つとして販売されていると伺いました。

また、この工芸品の中でも秀逸の作品がつくられ、その作品は、秋開催の萩市美術展に出展され、みごと入賞の榮譽に輝かれています。誠におめでたいかぎりであります。



まちの駐在さん



Q：繁田さん、警察官へなろうと思ったきっかけは何ですか？
また、動機は何ですか？ 教えてください。

弥富駐在所：繁田京祐

私が警察官になろうと思ったきっかけは、私が中学3年の時に自転車に乗車中、車に衝突される交通事故の被害にあった際、現場の警察官から親身に対応してもらったことがきっかけでした。

中学3年の時、サッカーの練習に行くため自転車に乗り、駅まで向かっていたところ、横断歩道を横断中に横から来た車に衝突される交通事故にあっ



てしまいました。
人生初めての交通事故であり、事故後、しばらく精神的にショック状態に陥ってしまったのですが、素早く駆け付けてもらった警察官から「大丈夫？怪我はない？僕たちが来たからもう大丈夫だよ」と優しく接してもらいました。事故の当事者になって不安を抱いていた私でしたが

その警察官の優しい言葉で、とてつもない安心感に包まれたことを今でも覚えています。

それまで私が思っていた警察官は、「ちょっと怖そうだなあ」というイメージでしたが、この交通事故をきっかけに「警察官ってヒーローのようなカッコイイ存在だ」と180度考えが変わりました。

そこから、私にとっての警察官の存在がどんどん大きくなっていき、いつしか自分自身も警察官になって、困っている人や不安を抱えている人の力になりたいと思うようになり、山口県警察を志望しました。

今では、地域の安心・安全を守り、県民のために汗を流すことができる警察官となっております。現在、就職を悩まれている学生の皆さん、転職をお考えの若い方々、私達と一緒に県民の安全・安心を守ってみませんか。

採用に関する受験案内は、萩警察署のほか、交番・駐在所でも用意をしていますので、気軽にお立ち寄りください。



あの頃の須佐は 40年前の須佐を 振り返る…「広報すさ」

このコーナーは、元気だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元気な姿を届きたいと思います。

須佐町町民歌 歌詞決まる！

須佐町・弥富村
が合併して30周年
という年を迎え、
これを記念して、
町民の誰もが気軽に
に歌え、いつまでも
親しみ愛される
「町民歌・町民音

『ふるさと須佐』

作詞 和田 健



ふるさと須佐
音声動画

頭」をつくることになり、昭和59年12月より広く一般公募をした結果、町民歌44編、町民音頭40編もの応募（県内外問わず）がありました。

10名の選定委員会で厳正に審査を繰り返した結果、町民音頭は、椋正隆さん（山根丁東）、町民歌については該当者が得られず、作詞家の和田健さん（当時山口市在住）に依頼することを決定しました。

和田さんは、詩人としていろんな活躍をされ、昭和53年に文化庁長官表彰を受けられています。

（町民歌を作詞され
た当時70歳）



愛の輪音頭
音声動画

（三）潮の香さやかに 陰陽の
未来を結んで 伸びる道
みなぎる力で 興そうよ
豊かな暮らしと 町づくり
ふるさと須佐は 希望の町

（二）歴史の誉れを 世々に継ぎ
みんなで開いた 今日幸
緑と人の和 育んで
心も一つに 助けあう
ふるさと須佐は 明るい町

（一）遙かに広がる 日本海
地球の年輪 生きてきた
ホルンフェルスや 畳ヶ淵
大島小島を ちりばめて
ふるさと須佐は 絵巻の町

記事、町民歌は昭和60年8月15日発行の「広報すさ」から

情報コーナー



夏休み!

映画上映会 作映決定!

ミキミンター

【あらすじ】

今回は、2015年に公開された「ミニオンズ」の続編で、物語は、ミニオンと大悪党を目指すグルーの幼少期が描かれています。

●グルーは、どうやって悪党になったのか?

●なぜグルーは、ミニオンズ仲間になり入れたのか?

見ていくと、こんな疑問を持たれると思います。この疑問に、皆は答えることができるかな?

それは、見ないと分かりませんよ。

★上映会

とき 8月23日(金)

午後6時30分開場

場所 須佐文化センター
上映 午後7時

★お問い合わせ先

須佐総合事務所市民生活部門

☎22211

■人権教育啓発作品募集!

○応募資格 地域内に在住、あるいは通勤・通学者

○作品内容 人権課題解決への明るい展望を地域住民に呼びかける内容で自由な発想によるもの

○作品種類 ポスター、作文、詩、標語・短歌、習字

○応募締切 9月20日(金)

★提出先 須佐総合事務所

市民生活部門

☎22211

■あいさつ標語募集!

あなたの身近に、心温まるすてきな「あいさつ」はありませんか?

今年も、すてきなあいさつ標語を募集しますので、どしどし応募をお寄せください。

○応募先

ふるさとづくり協議会事務局
(市民生活部門) ☎22211

弥富支所 ☎22211

○締切り 9月10日(火)まで

「あいさつで

わたしの元気おすそわけ」

(昨年度受賞作品から)

我が家のアイドル

食いしん坊のかなとくん。
ご飯2杯おかわりは、当たり前(笑)
まだまだ伸び盛り。
よく食べ よく動き よく寝て・・・
たくましい男の子になろう(^_^♪)
皆で応援してるゾ!!!

～パパ雅人・ママ耶歩より～
(青葉台：松原さん)

このコーナーでは、須佐地域の次代を担う5才までの元気な子ども達を紹介しています。子どもさんへのメッセージとともに、写真を掲載してみたいと思う方は、須佐公民館まで連絡をお願いします。(☎6-2310)



奏翔(かなと)くん：2才
令和3年8月7日生

生涯学習作品コーナー

【俳句】

あじさいや青天仰ぎて雨を恋う

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

さながらに緑蔭の風格となる

釣り糸の無心に触れて遠花火

(松原) 澄川千枝

大玉の西瓜包丁ぐさり刺す

滴る汁の喉ごしの味

(青葉台) 田村雅利

蝶たちの恋の祭典まつさかり

遠くに有りてうぐいすの鳴く

(山根丁東) ゆめはるか



梅雨走り家事の手を止めだるま菓子

一日の旅がやかとバスのなか

楽しく走る心地よしなり

日本海波静かなり元乃隅

神拝礼のご利益となる



須佐老人クラブ 美男美女会



大塚 均 (1911-1998)

通常切手「能面」

能面は、能を演ずる際にシテ方が着ける面である。式三番(翁)で用いられる面(式三番面、翁面)は、狭義の能面には含まれないが、能面に含めて呼ぶこともある。

鎌倉時代(13世紀)には、翁猿楽で翁面が用いられていたようであり、これが能面の源流と考えられる。

昭和40年8月20日通常切手70円発行、大塚均54歳時の作品です。



このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

須佐の偉人伝 大塚均

89

2024		8月 地域カレンダー		須=須佐公民館 緑=学校・保育園行事 赤=子ども対象行事 弥=弥富公民館 青=スポーツ関係 弥G=弥富グラウンド 黄=生き生き教室 保セ=保健センター		
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 生き生き体操 8:45	2	3
4 	5 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	6 心配ごと相談(保セ) 9:30	07 のびのび「そうめん流し」 つどい会と合同 9:30(久原園地) 弥 放課後子ども教室 14:00	08 	09 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	10
11 山の日	12 振替休日	13 	14 弥富盆踊り大会 19:00 鈴野川盆踊り大会 19:30	15 須佐地区ソフトボール大会 8:30 弥 須佐盆踊り大会	16 弥 子ども会 9:00 映画上映会(文セ) 上映19:00~	17 
18 家庭の日	19 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30 弥 子ども会(〜20) 9:00	20 須 あおば勉強室 10:00	21 	22	23 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	24 須佐中親子ふれあい奉仕作業
25 育英小親子作業	26 エコクラブ 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30 弥 放課後子ども教室 9:30	27 須 パッチサークル 9:30	28 弥 Gゴルフを楽しむ会 9:30 須 色えんぴつ画 9:30 音楽療法 13:30	29 15日(木) ★午後1時から、高校生が考えるお祭りが開催されます。詳しくは、今月の回覧をご覧ください。 多くの皆様のご来場・応募をお待ちしています。 		

伝言板

●弥富さつき学級

至誠館大学公開講座

「ニュースポーツを通じた

地域交流について」

○とき 9月9日(月)

午前10時から

○ところ 弥富交流促進センター

○講師 至誠館大学

教授 石立克己

○申込み 9月2日(月)まで
に弥富公民館 ☎8-2044へ

●須佐あおば勉強室

地域探訪②

「もっと須佐地区を知ろう」

○とき 9月10日(火)

午前9時〜正午

○ところ 須佐地区

高山、ホルンフェルス等

○申込み 9月3日(火)まで
に須佐公民館 ☎6-2311へ

●須佐さつき学級

消費者講座

「詐欺被害にあわないために」

○とき 9月19日(木)

午後1時30分〜

○ところ 須佐公民館

萩市消費生活センター

○講師 職員

○申込み 9月12日(金)まで
に須佐公民館へ

毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「18日」です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R6.6月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	937戸	1,678人	(△6人)
弥富	217戸	397人	
合計	1,154戸	2,075人	(△6人)

昨年比 世帯数△22人 人数△62人

編集後記

1万円札、5千円札、千円札が新しくなりました。3日前に初めて、ATMで1万円と対面、誰も知らないと思いますが、須佐には縁のあるお札なんです。1万円札は、福澤諭吉から渋沢栄一へ、どちらも関わってきたのが時刻表の父「手塚猛昌」でした。
 福澤諭吉とは慶應義塾の師弟関係、渋沢栄一とは帝国劇場建設などのビジネスパートナーとして関りました。これからはキャッシュレスの時代ですが、どちらも大切にしたいものです。



手塚猛昌

萬太郎